



豊臣駿府城と同時期に建てられた広島城

豊臣駿府城と同じ金箔瓦を使う岡山城

豊臣期天守台北西隅



駿府城

～豊臣・徳川2つの天守を探る～



まさふみ
講師 加藤理文氏
(公益財団法人日本城郭協会理事)

令和元年

10月20日(日)

参加
無料

午後2時～午後3時30分(開場午後1時30分)

発掘調査によって、徳川家康の隠居城の天守台の下から、豊臣時代の中村一氏が築いた天守台が発見されました。周辺域からは、多量の金箔瓦も見つかっています。中村一氏が築いた天守は、どんな姿かたちをしていたのでしょうか。また、徳川家康は、なぜ中村天守を埋めて、その上に隠居城の天守を建てたのでしょうか。最新の発掘成果から、2つの天守の姿にせまります。

会場	静岡県立中央図書館 2階 講堂 (静岡市駿河区谷田 53-1)		
対象	どなたでも	定員	200人 (要事前申込・先着順)
申込	①電話 054-262-1246 ②FAX 054-264-4268 ③メール webmaster@tosyokan.pref.shizuoka.jp <small>※FAXとメールには、講座名、氏名、電話番号、FAX番号 (FAX申込の場合のみ) を記入してください。</small>		
主催 静岡県教育委員会 / 後援 静岡県図書館協会			

※来館の際は公共交通機関をご利用ください。